



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリオ港北センター北	階数	地上10F、地下1F
建設地	横浜市都筑区中川中央一丁目3番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2020年10月28日
敷地面積	326 m ²	作成者	一級建築士事務所 エムティプランニング株式会社
建築面積	266 m ²	確認日	2020年10月28日
延床面積	2,529 m ²	確認者	一級建築士事務所 エムティプランニング株式会社

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 92 (kg-CO₂/年・m²)
②建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.3)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.2)

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.4)

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.4)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.1)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
今回の計画は街並みの環境に貢献し、街の風景の中で調和し共存しながらも先進で個性的で、街の多様なあり方を表現すると共に、駅周辺の持続的発展をアピールしている		
Q1 室内環境 断熱等性能等級4取得予定 F☆☆☆☆の建材を採用	Q2 サービス性能 劣化対策等級3取得予定	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内を適切に緑化している
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4取得予定	LR2 資源・マテリアル LGST地の採用 ノンフロン断熱材の採用	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインの過半を満たす

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

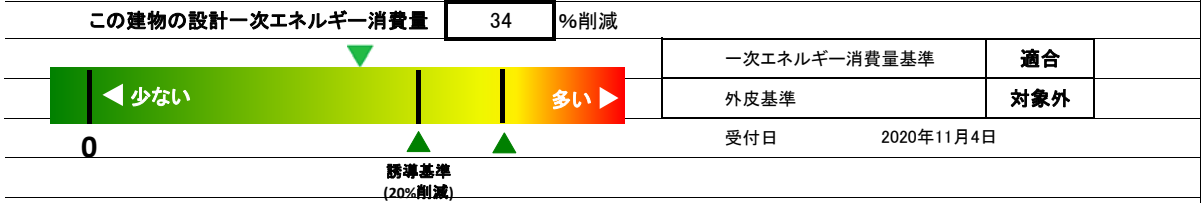


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **クリオ港北センター北**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4取得予定

③BEI=0.94(住宅部分) BEIm=0.66(事務所)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆の建材を採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫段差のない計画とする

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯劣化対策等級3取得予定

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	

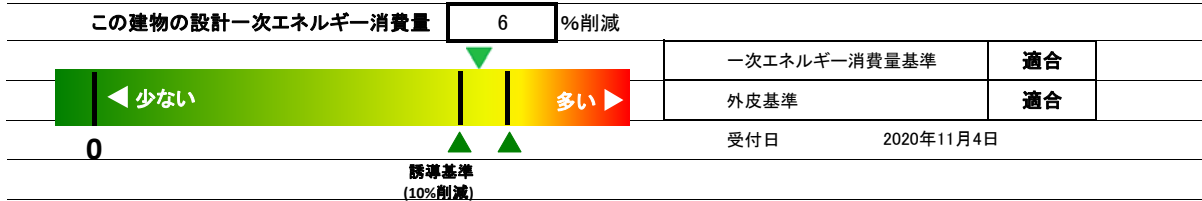


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **クリオ港北センター北**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4取得予定

③BEI=0.94(住宅部分) BEIm=0.66(事務所)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰劣化対策等級3取得予定

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 2-101



CASBEE横浜2017年版v.1.7

クリオ港北センター北

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音				2.9	0.15	3.3	1.00	3.1		
1.2 遮音				3.0	0.49	3.0	0.50	-		
1	開口部遮音性能			3.0	0.96	5.0	0.30	-		
2	界壁遮音性能			3.0	0.04	3.0	0.30	-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-		
1.3 吸音				1.0	0.02	-	-	-		
2 温熱環境										
2.1 室温制御				3.0	0.50	4.0	1.00	-		
1	室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.60	-	-	-		
2	外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.36	4.0	1.00	-		
3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.03	-	-	-		
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-		
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-		
3 光・視環境										
3.1 屋光利用				1.8	0.30	3.0	0.50	-		
1	屋光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	3.0	0.50	-		
2	方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-		
3	屋光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50	-		
1	屋光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00	-		
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-		
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-		
4 空気環境										
4.1 発生源対策				3.5	0.25	3.6	1.00	3.6		
1	化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	0.59	4.0	0.63	-		
4.2 換気				4.0	1.00	4.0	1.00	-		
1	換気量	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.39	3.0	0.38	-		
2	自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.48	3.0	0.33	-		
3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.03	3.0	0.33	-		
4.3 運用管理				3.0	0.48	3.0	0.33	-		
1	CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.02	-	-	-		
2	喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気環境	1.0	0.50	-	-	-		
5.0				5.0	0.50	-	-	-		
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	3.6	1.00	3.4		
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.40	4.0	0.60	-		
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.03	-	-	-		
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.03	4.0	1.00	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.94	-	-	-		
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.30	3.0	0.40	-		
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.03	-	-	-		
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.03	3.0	0.50	-		
1.3 維持管理				3.0	0.94	3.0	0.50	-		
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.30	-	-	-		
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-		
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震				3.0	0.30	-	-	3.0		
1	耐震性	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.50	-	-	-		
2	免震・制振性能	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.20	-	-	-		
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.3	0.30	-	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
2.0				2.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-		
1	空調・換気設備	防災	⑯信頼性	-	-	-	-	-		
2	給排水・衛生設備	防災	⑯信頼性	3.0	0.25	-	-	-		
3	電気設備	防災	⑯信頼性	3.0	0.25	-	-	-		
4	機械・配管支持方法	防災	⑯信頼性	3.0	0.25	-	-	-		
5	通信・情報設備	防災	⑯信頼性	3.0	0.25	-	-	-		
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり				3.0	0.30	3.0	1.00	3.0		
1	階高のゆとり			4.2	0.03	3.0	0.50	-		
2	空間の形状・自由さ			5.0	0.60	3.0	0.60	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.40	3.0	0.40	-		
3.3 設備の更新性				3.0	0.03	3.0	0.50	-		
1	空調配管の更新性			3.0	0.94	-	-	-		
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-		
3.0				3.0	0.20	-	-	-		

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 2-101



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 クリア港北センター北

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	-	-
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	-	-
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	-
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	-	2.4
1		生物環境の保全と創出	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
2		まちなみ・景観への配慮	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	-	3.0
3		地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
3.1		地域性への配慮、快適性の向上	⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2		敷地内温熱環境の向上	⑬敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	-	3.4
1		建物外皮の熱負荷抑制	①建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	-	-	4.0
2		自然エネルギー利用	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3		設備システムの高効率化	③設備システムの高効率化	3.6	0.50	-	-	-	-	3.6
4		効率的運用		2.9	0.20	-	-	-	-	2.9
		集合住宅以外の評価		2.0	0.09	-	-	-	-	-
4.1		モニタリング	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2		運用管理体制	④効率的運用	1.0	0.50	-	-	-	-	-
		集合住宅の評価		3.0	0.91	-	-	-	-	-
4.1		モニタリング	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2		運用管理体制	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	-	3.1
1		水資源保護		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
1.1		節水		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	-
1		雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2		雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	-	-
2		非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	-	-	3.2
2.1		材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-	-	-
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	-	-	3.3
3.1		有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2		フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	-	-
1		消火剤		-	-	-	-	-	-	-
2		発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-	-	-
3		冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	-	3.1
1		地球温暖化への配慮		3.7	0.33	-	-	-	-	3.7
2		地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	-	-	2.5
2.1		大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2		温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
1		雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2		汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
3		交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
4		廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
3		周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	-	-	3.2
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1		騒音		3.0	1.00	-	-	-	-	-
2		振動		-	-	-	-	-	-	-
3		悪臭		-	-	-	-	-	-	-
3.2		風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1		風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2		砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-	-	-
3		日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3		光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-	-	-
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	-	-	-
2		屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目				-	-	-	-	-	-	-
<事務所用途>				-	-	-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>				-	-	-	-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-	-	-	-
1		化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	5.0	-	-	-	-	-	-
2		適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
3		結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	-	-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-	-	-